



# 子どもの貧困と児童労働のつながりを考える 地域円卓会議

沖縄における児童労働の実態を確認し  
貧困問題との関連性を議論する

## 実施報告書

日 時： 2019年10月11日（金）18:00-20:40  
場 所： なは市民活動支援センター 会議室 2,3（沖縄県那覇市銘苅2丁目3-1）  
主 催： 認定NPO法人ACE  
協 力： 公益財団法人みらいファンド沖縄、NPO法人まちなか研究所わくわく

報告書作成  
NPO法人まちなか研究所わくわく  
公益財団法人みらいファンド沖縄

# ACTIVITY REPORT

## 【報告】子どもの貧困と児童労働のつながりを考える地域円卓会議



- 日 時：2019年10月11日（金）18:00-20:40
- 場 所：なは市民活動支援センター 会議室 2,3
- 着席者数：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 来場者数：54名（教員、行政、NPO・市民団体等）
- 主 催：認定NPO法人ACE
- 協 力：公益財団法人みらいファンド沖縄  
NPO法人まちなか研究所わくわく
- お問合せ：NPO法人まちなか研究所わくわく

### 論点提供

岩附 由香 氏（認定NPO法人ACE 代表）

### 沖縄における児童労働の実態を確認し、貧困問題との関連性を議論する

世界の子ども10人に1人にあたる1億5200万人が児童労働に従事しており、持続可能な開発目標（SDGs）のターゲット8.7では「2025年までの児童労働撤廃」という目標が掲げられています。先進国にも200万人の児童労働者が存在し、日本でも年間300近くの事業場で子どもに関連した労働基準法違反が報告されています。また、ブラックバイトによる経済的搾取や学業への悪影響などの実態も明らかになってきています。

貧困は児童労働の主要な要因であることから、子どもの貧困に取り組むうえで、子どもの就労という視点も必要であると考えます。この地域円卓会議では、まず日本における児童労働とは何かを国際条約や日本の法律から確認します。そして、沖縄県における事例を検証しながら、参加者のみなさまと子どもの貧困と児童労働の関連性を考え、問題解決のための糸口を見つける機会になればと考えています。

### センターメンバー



岩附 由香  
認定NPO法人ACE  
代表



打越 正行  
NPO法人 社会理論・  
動態研究所  
研究員



新垣 梨沙  
琉球新報 編集局  
NIE 推進室



北城 博子  
名護商工高等学校  
教諭



山野 良一  
沖縄大学  
人文学部福祉文化学科  
教授

## ➤ 円卓会議に参加いただいた皆さんから

### 事実の提供

- ACE の Purpose 「私たちは、子ども、若者が自らの意志で人生と社会を築くことが出来る世界をつくるため子ども、若者の権利を奪う社会課題を解決します」
- SDGs の目標 8、ターゲット 7 に「2025 年までにあらゆる形態の児童労働を終わらせる」と記載されており、日本でもこれを目指さなければいけない
- 児童労働が起こる背景は、子どもの方が、安い賃金で雇えるから。特に、言うことを聞く女の子が好まれる
- ACE の支援（ピース・インド プロジェクト）：①労働からの子どもの保護と就学支援、②女の子の自立支援（義務教育年齢以後の職業訓練）、③地域のおとな（親）への収入向上支援
- 児童労働を禁止する国際条約：①最低年齢条約「働いてよいのは義務教育を終えてから（原則 15 歳）」、②最悪の形態の児童労働条約「子どもの心身の健康に著しく悪影響を及ぼすものは、18 歳未満は即禁止」
- 日本は児童労働の調査をしていないため、児童労働に関するデータが無い
- 日本には、働いている高校生世代（15～18 歳）は、少なくとも 23 万 1110 人いる
- 2017 年に 15 歳の女の子が、太陽光パネルの清掃中に落下した。ACE が緊急声明を発表し、国会で質問された
- 家族の経済的理由もあるため、児童労働と分かっても、子どもに辞めろとは言いつらい
- 児童労働を無くすためには、各地域に合った需要側へのアプローチ、供給側へのアプローチ手法を開発していく必要がある。その手法を沖縄で、ACE と一緒に考えてくれる方を探している
- 沖縄は製造業の割合が少ない（5.3%）。全国は 21.0%
- 打越氏が話を聞いた沖縄の若者約 160 人の内、6～7 割は建設業に就き、その他は風俗を経営したり、違法就労に就いたり、刑務所に入っている
- 取材した風俗で働く子は、全員、学校に行けていなく、家には暴力があった。家の外に出ると声をかけてくるのは男性であり、風俗業を紹介される
- 一番幼い子で 11 歳から、騙されて風俗業で働いていた
- 風俗で働いて得た給料から、弟や妹に小遣いをあげたり、洋服を買ってあげたりしている
- 15 歳の女の子の事例：キャバクラより割のいい仕事があるとセクキャバに誘われ、面接に行くと、実際はピンサロだった。脅されて働くことになり、客一人の料金は 12000 円だが、その内の取り分はお店が 7000 円で女の子は 5000 円であった。また、その後は女の子の取り分が千円代まで減っていった
- 大抵の子たちは、生活が不規則でも家に帰ったら親がいるとか、いつも同じメンバーに会うなど生活の形がある。しかし、そのような生活の形さえも無い子たちがいる
- 沖縄県は建築バブルで職人が足りないため、年齢の確認義務があるが、会社登録を行っていない孫請け、ひ孫請けの事業所では、工期が迫っているから働いてくれとなる。保険や年金も引かれていないため手取りは高いが、ケガや体力が無くなると使い捨てになる
- 名護商工高等学校の進路決定率は 98%を超えている
- 名護商工高等学校で全校生徒（約 420 人）にアンケートを実施した。アルバイト率は 44.2%。中学校から働いている子もいる
- 風俗で働いている子や虐待を受けている子は、典型的に「私が我慢すれば、うちは上手くいくんだから」と言う
- 高校生の「アルバイト収入の使用用途」として、「家計の足し」との回答は困窮世帯 33.7%、非困窮世帯 18.3%であった
- 沖縄の高校生のアルバイト収入は月に平均 4 万円程度。高校生は最低賃金で働いていることが多く、週に 12.5 時間程度働いていることになる
- 児童労働を現場で判断するための 4 つのキーワード：①労働の質が危険かどうか、②子どもの心身の発達に悪影響があるか、③教育の機会が奪われていないか、④搾取（子どもが働くことで、誰かが利益を得ている）の構造があるか
- 金髪を黒髪にしないと学校に入れない等、学校が子ども達を排除するのは、地域や企業の採用担当者などから「この学校は指導しないのか!？」とクレームがくるため

### 事例の提供

- シンガポールなどでは、進路先を若いうちに決めた子は、職業毎に分かれる教育システムをとっている



## 視点の提供

- ヤンチャな子にとって、自営業や観光業は就職しづらい仕事のため、沖縄では建築業が主な就職先となる。その為、高校で身に付ける知識や資格は全く役に立たないので、建築現場に早めに出て経験を積むのが合理的である。それを知ったうえで策を考え、支援する必要がある
- 沖縄の中小零細の建設会社は、不景気になるたびに潰れている。その為、準公務員にした方が良いと思う。また、県内の仕事は県内の建設会社に入札させるべきだと思う
- 労働権利教育を行っていききたい。自分が働いた対価として賃金を貰う、そこには権利が発生しており、行使して良い事を高校生に教えていききたい
- 子ども達の所属先を確保する事が必要である。主な所属先として家庭や学校、地域の3つだと思う。所属先が無くなると子どもの姿が見えなくなる。その最前線は学校だと思う
- 沖縄、日本は性の搾取に寛容な社会だと思う。風俗業で働く女性に偏見や差別があり、売る方が悪いという視点がある
- 友だちとおしゃべりをする事で、友だちが危険を察知して大人に繋げることができる
- 少女を性被害・虐待から救う“10代限定”ピンクの「バスカフェ」を沖縄で行えると良い
- 目立たないと自分は認められないと思込んでいる子がいる。髪を染めて個性だと言うが、「個性は500円のブリーチでは買えないよ。中から輝くのが個性だよ」と伝えている
- 大人の感覚や社会の常識が、子ども達の人権を尊重しているのか、大人が疑問に持つようにしないと、良かれと思ってもやらかしている事がある
- 学校が福祉的機能を果たすことができるとインパクトは大きいと思う
- 大人自身の労働も、権利が守られていない事に対して許してはいけない。声をあげていくことで、子どもや家族にも良い影響を与えらると思う
- 子ども時代に享受すべき時間が奪われていることが児童労働の問題だと思う

## 評価の提供

- 建築業の現場の仕事は、高さ5m以上での作業など、基本的に危険な仕事のため、若い子達も働かざるをえない状況だと思う
- ヤンチャな子にとって学校も家庭も地域社会も遠い存在のため、仕事を見つけ、生活を作り、繋がりを作るためには、地元の先輩後輩など、自分たちでつくった社会に行きつく。この厳しい社会で自分の生活をつくるためには、使える後輩を確保することである。その為、児童労働が発生するのは避けられない
- 売春防止法は、売る側は処罰が重い、買う側は処罰が軽い。性に寛容であるメンタリティーが表れた法律だと思う
- 性風俗で働く子やしんどい状況にいる子ども達ほど、自己責任論を強く持っていると思う。「自分たちで何とかしないと」と思わされている
- 家計のために働く高校生は、長時間働くことにつながりやすく、学業に影響を与えらる。意欲ややる気を貧困自体が削いでいる
- 女性や子どもの声が反映されていないため、政策的な手当てが機能していない等の課題や、搾取された側が搾取する側になり、世代間の連鎖が起こるなどの構造は、インドやガーナと日本も同じである

## ➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

### 1) 児童労働の社会への認知

沖縄で日常、気にも止めていなかったアルバイトも児童労働にあたる可能性があるという啓発活動が、この課題の最初のアクション。児童労働を他人事では無いものとして伝えていくには、児童労働によって地域の子どもたちが、本来子ども時代に享受すべき権利が奪われていることを伝えることが重要。また、目標数値を明確にするために SDGs 等の国際基準も共有していきたい

### 2) 児童労働に関するデータの取得と構造把握

児童労働に関する精度の高い定量データを取るための手法開発が重要。そこで得たデータをもとに県内の児童労働を余儀なくされる需要と供給の構造を把握し、どの関係性に働きかければ、効果的に解決に向かうのかを設計していきたい。同時に沖縄においては根深くはびこる子どもの貧困問題とのリンクが想定されるため、産業構造や労働権利の啓発等高い視座での働きかけも並行して行っていこう

## ■参加者によるサブセッション

### 沖縄における児童労働の実態を確認し、貧困問題との関連性を議論する

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

- ① 生産、街おこし、横断的に取り組む  
大人のケア、ヤングケアラー、金銭は出ない、  
家庭内労働  
「家庭」づくりか、でもないから、ゲーム、  
SNS
- ② 家事など上手、遊びなおし、下の子を面倒み  
るといふ頼もしい、やさしい！  
業者(子どもを参加させている人たち)雇っ  
てあげている。もっと別のやり方ないの？  
知識がない←沖縄県独自？ 親が放棄して  
いる。  
コミュニティのつながりが薄くなっている  
のも確か、いい意味でのつながりか、悪意の  
ある人が変な所に行く。貧困、Money、体験、  
想像の欠如、貧困の連鎖  
未来がみえない→学びなおす、生きなおす。  
という転換の時、サポートがあれば選べる。
- ③ 負の連鎖。「労働」働いている→外に出られ  
ている。働いていない→引きこもり→過卒+  
生保なしの子、引っかかる場所もない。→  
制度の抜け目!!  
貧困→地域の希薄さ、虐待、地元(友だち、  
先輩)誘い「選択肢がない」  
「実態」・先輩、地元からの誘い、風俗等夜
- ④ 短期的なてっとり早い労働力しか育たない
- ⑤ バスカフェ。ピンクバスを！
- ⑥ NHK：取材したことがあった。社協：興味  
があった。ACE：見えにくい現実がある。  
貧困問題は話題になったが、社会は変わった  
か？  
経済、観光が拡大することに伴って、性産業  
が増えたのでは？  
遠い話し、他人事のこのように思うが・・・。
- ⑦ 貧困対策「歯ブラシ配りたい」配れなかった。  
歯ブラシ、習ったことない→本当？学校でも  
習う。予防できる？  
セーフティライン、ちゃんとあるか？  
声かけする大人いない？民生委員いるので  
は？  
(夜)大人と会える場所、塾か居酒屋。  
深夜徘徊予防できることないか？パトロー  
ル  
産業構造→貧困。戦後復興にも起因する。  
悪いことにまきこまれる。  
沖縄市→SNSで気軽に売春  
鹿児島→就職率悪くはない。県外に出る人も  
多い。  
高校生バイト禁止にする？実態調査は難し  
い。  
稼げない沖縄。風俗へ。沖縄にこだわってい  
る、出られない状況。
- ⑧ 安心した家庭作り。居場所作り  
家庭を変える←支える側を支える。  
子ども達へ教育→今の教育を変える！  
みんなが幸せ！
- ⑨ 不登校、生徒。ブラック企業・バイト対応。  
家族は好き。親とははなれて欲しい。  
キセツは親から離れるチャンス  
☆グレーな所を権利教育するのは大事だが、  
つぶれていくのでは？  
社会のやみ、構造が・・・  
バイトリーダー、居場所になっている。  
南風原児童館  
(学期)・医者→退学？  
結婚。下の子がいる。  
家族、親に福祉サービスが無く。SWは？親  
がお金を持っていく。  
<高校生>生徒会。3年で車の学費ためる。  
夏休み、母に貯金を使われる。→金と時間を  
奪われた!!

- ⑩ 課題の解決→次につなげるために  
 児童館。中学生の子は離れていく。親からの話で家族の状況→実態がわからない。  
 幼稚園。気になる子→しっかりしている。  
 相談しても良いということをお教えることも大切。  
 教えて言えるように、自分で完結にさせる。
- ⑪ ジョブツアー(企業が金を出して学生に見学させる) コーディネート。コンサルが同行、面接教育。  
 バイターン(バイトで教育して正職員にしようとする会社に、国が助成金を出す)
- ⑫ 沖縄社会(風土)の影響(変化、全体乱す。タブー)  
 もっと学校で労働権利、お金のことを教えることが必要。  
 豊見城市で基金を設立する予定  
 子ども達のあきらめ感が強い→解決策・方策を示す。情報を伝える必要性
- ⑬ ☆参加して、考えが変わった。売春。買う方、売る方。  
 子どもの権利条約。教科書でしか知らなかった。現実、現状を知れた。  
 ☆沖縄はシングルマザーが多い。家庭環境きびしい。シングルマザーへの対応をしていかないといけない。  
 「自分をみてくれる人がいない」→「そうじゃない」  
 ☆朝の HR、奨学金制度の話。それに当てはまっているのに、知らない。他校の子。お金の話を教えて。子どもが考えるのは大事。  
 ☆ヤンキーになる子は嫌われている子。皆とつるまない子。距離がある。  
 ☆先輩の紹介。違法じゃないですか?とか言えない。たとえ知識があっても。

☆友だちに深夜徘徊。この子大好き。親に言ってうちに泊め、ご飯食べさせ、一緒に登校。塾にも入れさせ、一緒に通う。変わってきてる。

☆「トビタテ」留学プロジェクト。今から行く。貧困に関心。先生から聞いて、今日、参加。自分たちでプログラム。

☆学校に内緒でバイトしている子いっぱいいる。

☆買い物に行ったら、バイトしている子は好きに買う。学園祭の時、服をそろえる話、バイトしている子は「買おう」

☆中学の時、男子、建築バイター、県外出張までしていた。今、解体工事しながら、後ちよつとで赤ちゃん。

☆友だち、Girl's Bar で働いている。昼はコンビニ。高校行ってない。家にも帰ってない。

☆高校辞めて建築バイトやめて・・・

☆中学は皆一緒。高校は「わかれた」。友だち変わっていく。会ってしゃべったら、普通。

- ⑭ 保育園の送迎に兄妹が行うこともある(身支度が不十分と感じる)。

地域で課題のある子は小学校から目立つ→幼・保育園から関わる必要がある。

※支援が必要な子は通うことがないというジレンマ。

情報教育が不十分であることを感じる。周囲に馴染むことが困難で、ドロップアウトすることが多い。

家庭での養育の貧困

親への支援の重要性。

多子、振食、養育不足

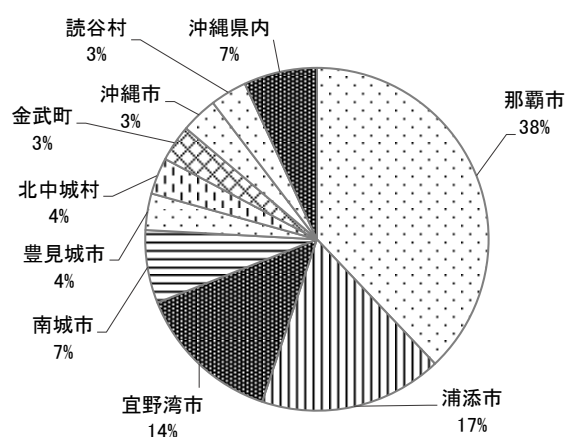
保育園児からネグレクト?

## 子どもの貧困と児童労働のつながりを考える地域円卓会議 参加者アンケート集計

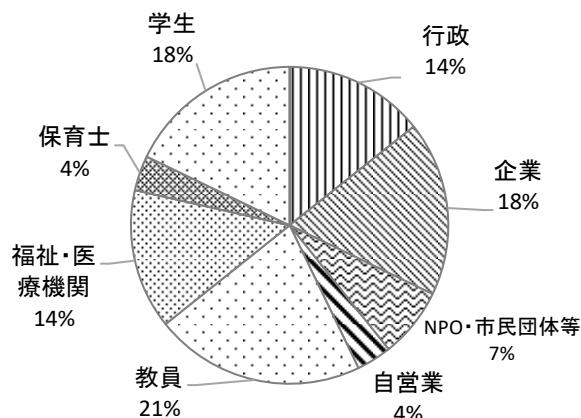
### ◆概要

- ・日時：2019年10月11日（金）18:00-20:40
- ・場所：なは市民活動支援センター 会議室 2,3
- ・着席者：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：54名（アンケート回収29名、回収率54%）

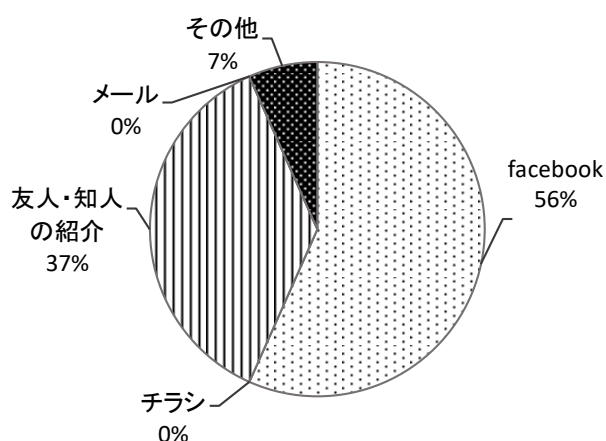
### 1. どちらから？



### 2. 所属



### 3. 円卓会議はどのように知ったか



### 4. 満足度

平均：4.8（5点中）

5.満足	4.概ね満足	3.普通	2.あまり満足していない	1.不満足
23名	5名	0名	0名	0名

### 5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・ 貧困問題がある事は知っているが、具体的にどのような状況になっているのかが分からなかったもので、現実を知ることができたから
- ・ 児童労働について知識がなかったが、理解を深めることができた。
- ・ ACE や打越さんや北城さん、山野良一さん、新垣さんたちの話を聞いて勉強になりました。「バスカフェ」については、初めて知ったので良かったです。
- ・ 子ども達が働かざるをえないことを、子どもの自己責任でかたづける時に、何ていいかえせばいいか、沢山ヒントをもらえました
- ・ 大学入試のネタ集め
- ・ 様々な事案を提示いただき、刺激をうけました
- ・ 興味関心のある内容であったから
- ・ 現在の問題がわかりやすく、とても勉強になりました。
- ・ 円卓メンバーが、いろいろな分野の方がいらしたことで、参加者もいろいろな分野が様々
- ・ さまざまな知見を持った有識者の方の話をきくことで、全体像が捉えられた。また、グループワークをすることで理解が深まった。
- ・ 社会構造のやみ、ブラックバイトでも居場所になっている。など、様々な現状や視点のポイントのヒントがあり、とても良かった。
- ・ とても濃くて勉強になるお話ばかりでしたが、遅れて参加したことが大変悔しいです。
- ・ 貧困と労働、児童館から離れていく子どもの先の日常を考えることができた。



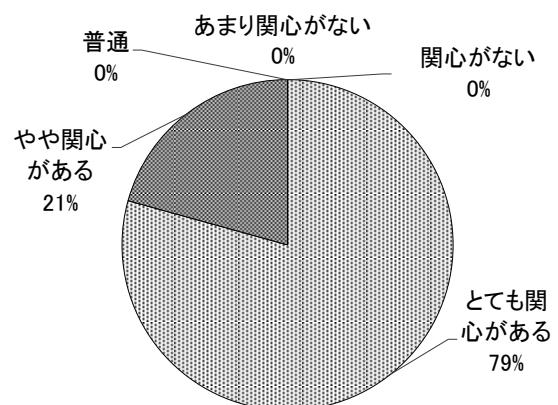
- ・ 今まであまり議論もされてこなかった児童労働について学ぶことができて良かった。非行児童の入所施設やその他施設で勤務しながらも、搾取されている子どもたちが、被害者でもありながら罰を受けている現状にもやもやとしていましたが、法律等もっと勉強が必要だと感じました。
- ・ 皆さんの話がとても良かったです。新垣さんの最後の話は、特に涙が出ました。年下の弟や妹のためにと、いつまでたっても、子どもにとって厳しいこの社会を早く変えないと、皆さんの話を聴いて改めて考えました。
- ・ 考えるきっかけをいただけたこと。自分の立場からできることを考えた。
- ・ 女性側、男性側、世界などいろいろな視点での会議だった。現場にいる人の意見をきけた。
- ・ 具体的な現状、取り組みがきけたことは、とても良かったです。社会にとり残されている人が、いかに弱い立場ということを知りました。
- ・ 多方面から意見、情報を得ることができました。知らないことばかりで、大変恥ずかしく思いました。学べて本当に良かったです。
- ・ 職業多種に渡り、多くの方がこうして貧困について、子どものことに取り組んでいることに感激しました。色んな視点での捉えた意見がきけて、参考になりました。
- ・ 子ども達のための活動を協会でも協力していると考えています。4月に沖縄に越して参りましたので、沖縄の現状を知る事ができました。ありがとうございます。
- ・ 子どもの貧困、児童労働、児童虐待が繋がっていることが、はっきりと分かった。
- ・ 自分の知らない事実もたくさん分かったし、たくさんの方々の考え方を知ることができ、考え方も変わったからです。まだ、福祉が充分とはいえない中で、自分にも何ができるのだろうと考えるきっかけにもなれました。

- ・ 普段の教科書で習う難しい単語も、今の沖縄の現状を知りながら学べたので、とても良かったです。貧困や児童労働に対して改善しようと動いてくれている大人の方が沢山いることを知れて良かったし、嬉しくなりました。

#### (4. 概ね満足)

- ・ 沖縄の児童労働について知ることができた。
- ・ 山野先生から「大人も権利が守られていない」というコメントに共感した。救われました。
- ・ 新垣さんのお話はすごく面白かった。シェアして下さり、感謝しています。しかし、ピンサロで働く少女が弟妹のめんどうを見ている。とても良い子だという印象で、バッシングを和らげるかのような話の流れには違和感を覚えました。
- ・ 大学入試のネタ集め
- ・ 知らない事（貧困家庭、状況など）知ることが出来た事。貧困の改善したいと思っている人が多いのだと感じました。
- ・ 子どもの権利、あたり前だと思っていることを改めて考えることが出来た。新しい先生（初めて知る）もいたので取り組みを知ることが出来て良かった。
- ・ もう少し意見交換ができれば良かったな～。

#### 6. 児童労働に関心をもちましたか



## 7. 児童労働にあたるかもしれないこと

- ・ 大学生のブラックバイトも、女子学生の性的搾取が関係しています。居酒屋でバイトして、客にセクハラされ、とても苦しくなったら、店員さんが来て、はなしてくれる。やさしい人ばかりでいいバイトって、本気で感謝したりしています。
- ・ ヤングケアラーについて触れていただきましたが、私は高齢者の支援をしています、孫が世話をしている（18才ぐらい）事例に出会い、この問題に関心を持つようになりました。
- ・ 部活も友人との時間もなく、小さな弟・妹の世話、家事
- ・ 海外の児童よろタバコ葉の栽培
- ・ 沖縄では新聞社も頑張っていること。現場の先生のお話
- ・ 風俗業、建築業などで働いている児童
- ・ 兄弟・姉妹のお世話
- ・ 長男（前父の子）が下の兄弟（現父の子）の世話をさせ続けられている。「僕は奴隷だからね」と、言った言葉は、家事労働に当たると感じた。
- ・ 自分の友だちでシングルマザーで親からの愛情を感じていない子が、10時すぎまでバイトをしたりしていること。
- ・ 自分の友達が、中学校の頃から改体工事をしていました。また、県外への出張とかにも行っていました。

## 8. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ 小学校前の保育園、幼稚園からの関わりを強化することが必要だという意見があった（グループ内で）
- ・ 「学校が最前線」というお言葉がありました。そうだな～と思う反面、私たちにゆとりがないと、今の見えにくい貧困を見つけるのは難しい。だから、支えが、私たちも欲しい
- ・ うちの班の那覇高校生が言っていた、高校の

HR で授業やお金の話を取りあげるとするのは、とても良い。

- ・ バスカフェはいいと思います。こういった取り組みをボランティアで募集してもいいかなと思います。
- ・ そもそも形がない、居場所→さらに所属先をつくる。遊ぶ、学ぶ、笑う、子ども達の権利が働くことで奪われていること
- ・ ピンクバス
- ・ 大人の常識、良かれと思ったことが裏目に
- ・ ピンクカフェ（バスカフェ）。夏休み中に県外とかでバイト（一時期）→親元を離れる事で客観的にみる事ができる。
- ・ ピンクバス!!
- ・ 今日もありがとうございました。とてもよかったです。児童労働に関してとても関心があったので、この機会を設けていただいてよかったです。お疲れさまでした。
- ・ 幼稚園の預かり保育などの時間で、高校生がクリーンな児童労働できたらいいね！と提案していただけたこと、労働じゃなくても、居場所がつくれたら。ピンクバス。
- ・ 新垣さんとお話でき、学校の大切な役割を今一度実感しました。
- ・ 建築現場の送迎は、子どもが働きやすく（悪い意味で）なってしまうと感じた。
- ・ ITと福祉で、効率化できることを抽出したい。まずは課題を知る。行動したい。
- ・ 子を守るためには、大人自身を大事にしなければならない。社会保障をセットで考える
- ・ 働く環境を選択できる権利の重要性。改めて、あたり前を労働の観点から見て考えることができた。
- ・ 学校が大事
- ・ ピンクバス。沖縄県で市町村にまかせるだけでなく、県で市町村の代表を集めて貧困対策について取り組むことも大切かと思います。南風原町の取り組みも良い
- ・ 移動シェルター

- ・ ジョブツアー、バイターン、ピンクバス
- ・ 児童館などで18:00に帰すのではなく、バスカフェというアイデアにとってもいいなと思いました。自分と大して歳が変わらない子達がこんなに苦しい思いをしているのだと知って驚きました。
- ・ 小5の女儿がピンサロで働いていたと知って驚きました。学校で、憲法や法律についての内容を学ぶときに、今回のような専門の先生方のお話しも聞く機会があれば、もっと良いなと思いました。大人の方々に交じってセッションするのは凄く多くの知識を知ることが出来ながら、普段中々出来ない体験ができて凄く良いと思ったので、もっと高校生達にも、もっと呼びかけてもらいたいです！

(写真) 会場の様子





# 子どもの貧困と児童労働のつながりを考える

地域の困りごとを社会課題として共有共有77場

2019.10.11(金) 18:00~20:40  
@ 本ほ市民活動支援センター

## 地域円卓会議

77回

平良 岩附  
山野 打越  
北城 新垣

権利  
子どものあるべきへ

沖繩における児童労働の実態を確認し、貧困問題との関連性を議論する

# 論点提供

岩附由香さん 認定NPO法人ACE代表

ACE 子ども若者の権利

児童労働に反対するグローバルムーブメント 1998.1.14~6日

児童労働となくしていきたい!

SDGs 世界の目標

子どもの権利条約 18歳未満 キャンペーン 25年

1億5200万人(世界)

教育以外の健康問題

子どもの権利条約 18歳未満

児童労働 子どもの権利条約 義務教育終了前(18歳未満)

労働基準法 データがない

23万人(15~18歳)

2019年 15歳以上 児童労働者数 推定

軽易な労働 モンゴルの児童労働 危険有害な労働

親の収入向上 経済的自立

子どもの権利条約 質的教育と訓練への支援

女の子(15歳以上)への支援

児童労働に関する法律がない

統計データがない どういったデータがあるか

## 最悪の形態の児童労働の事例

- 家出の女の子へ売春
- 児童ポルノ
- 特殊文書
- 船内仕事(セクシャル労働)

1919年から問題になっている

沖繩の高校生のアルバイト状況

法律がない → 先生も相談しづらい  
事情もわかる、どうしたらよくなるか  
まず実態を知れることが

ビジネスセクターの連携 消費者の参加

打越正行さん

建築現場に入って調査 2009年~

沖繩の社会 「とろあそ高枝へ行こうか」 45人とはなっている

建設業につなげる学校へ行くのは時間のロスではない

製造業がない 5.3% - 21.0% (中国)

5人以上のキケンな労働もある

産業構造上の問題 本人たちの生活 親失業、自営への転換

学校、家庭もわからない

地域社会がかわる必要がある

自分たちで活動する

6~7割 建設

そこに行き場がない 必然であることがわかる

選択 教育のしきもかわる

建設業と安定させること 無理すぎる 県内の仕事は県内

子ども生活のカタチがない

選択しなくていい

性の子供にカチンとくる

差別がある

1,2,3,4,5階

新垣梨沙さん

取材を通じ 風俗での女の子 11歳~15歳

だまされて、1000円/1日 17000円/1店 5000円/1日

批判の声がある

学校に行かない、家には暴力がある → 声かけてくるのは男の人

地域の上の人たちとつながり、思ふを感じて、こめられる

貧乏があるものと女の子が 45部は批判が増えた

自己責任 自分たちで何とかしたい、いけない、強く思わなければならない

性風俗では女の子の年齢はなれた子がいる 子ど保育の経験 大人でいる、おどろかされた

北城博子さん

工業高校で建築 学校教育の限界 工業高校 → 進路決定率98% ヤンキー少なく来た、3名くらい

なぜ建設業? 稼げない、稼げないの事業所 (会社登録してない) 職人が足りない

420人(3学年15クラス)アンケート

44.2% アルバイト率

中学からはたらくしている子もいる

不当な契約、全校集会で説明

労働権利教育

山野良一さん

沖繩大学

私ははが本人すれば...

2011 県高校生調査

高校生アルバイト 悪くはない、影響

21.4% (16.7% 沖繩)

理由 実計のため

45日(平均) 800円/月 50円/日 12ヶ月

65日 18.8ヶ月

構造は同じ

格差

女性への差別

現場で判断する 4つのキーワード

世代間の連繋

労働 社会保障

権利

大人の労働者権利

さくしゅ

さくしゅされた側がさくしゅする側へ

いっしょなうたみがある

自立できるように

子ども

大人の常識

よかれと 思っていること

あぶら、まなま、あたりまへの

エソカバズ

所属先 学校 家庭 地域

学校への期待 安心して過ごせる場

最前線、行きたい場所、行きたい場所、同世代とつながりたい

安心 安全を大人 ことはてなげかける

なまなま、見失われない



原稿のひけつ → 本下 → 仕上げ

学生誌  
 社会のよは越えたい  
 親のよは越えたい  
 北見 → 東北 → 北九州  
 幼稚園  
 言語の子 → 10. 11. 12.  
 相模 → 北見 → 北九州  
 新入生 → 北見 → 北九州  
 北見 → 北九州

「ヤマト」  
幸せ!

教育  
 教育  
 教育

安心した家庭作り  
 生活場所作り

④ NHK取材はいた  
 社協: 興味あつた  
 ACE = 見えない  
 現実ある  
 貧困問題口話  
 題にはたか  
 行かた変ったか?

沖根社会(同土)の影響

もて学校で常駐権利、お金のことで教えることが必要

豊後市で基金を設立する予定

子どもたちの支えの形が強い  
 ↓ 解決策・方法を示す  
 情報伝達を伝える必要がある

**バスカフェ**  
**ピンクスモ?**

短期的な(つまり早い)労働力しか育たない

⑤ 責任の所在  
 ⑥ 経済的負担  
 ⑦ 社会的負担  
 ⑧ 精神的負担

⑨ ジョブター  
 (企業が金を出して学生に  
 コンサルタンク同行  
 面接教育)

⑩ バイターン  
 (バツイチ教育に正社員に社会に  
 国の助成金が出る)

カンパネ、サマ、トサ

お母さんの。考へかかった  
 売春。買方、売方。  
 子宝の権利争奪。教科書に  
 知ることが。現実、教科書に  
 知れた。

お沖根はシングルサマ、  
 家庭環境をみればシングルサマ  
 の生活にまじりかるといって  
 「自分もかたやうい」  
 ↓  
 「さうかい」

お母のHR、校舎全壊の話。  
 他にありませんのに知りた  
 他校の子。不安の話を教へ  
 たりして。考へかかった。

おヤンキーにはまりまうかたの子。  
 みんごうのさうだい。カリカル。

お先輩の紹介。違法のアルバイト。  
 いふに。たぶん知識が  
 あつた。

お反対に深夜のアルバイト。  
 お姉さん。親に言えずに泊り。  
 ゴハに食べ。一緒に登校。  
 塾にも入れば。一緒に通う。  
 変わります。

お下びた、留学生のアルバイト  
 今、い。貧困に良心。  
 塾の先生から、まじり今日、考へ。  
 自分でいふことになる。

お学校に「アルバイト」バイトの子  
 いふに。

お買い物に行くと、バイトの子が  
 姉に買。学園祭の洋服を  
 買える話。バイトの子は「買方」

お中学のとき、男子、建築心で、  
 昇外出張まじりした。今、解体  
 工事してる。お姉さん、お姉さん。

お反対、Girl's Barで働いてる。  
 倉はコンビニ。高校行く。お姉さん。  
 家には帰らない。

お高校辞めて建築心で働く...  
 お中学はアルバイト。高校は「お姉  
 さん」反対、お姉さん、お姉さん、  
 反対、お姉さん、お姉さん、  
 反対、お姉さん、お姉さん、  
 反対、お姉さん、お姉さん、